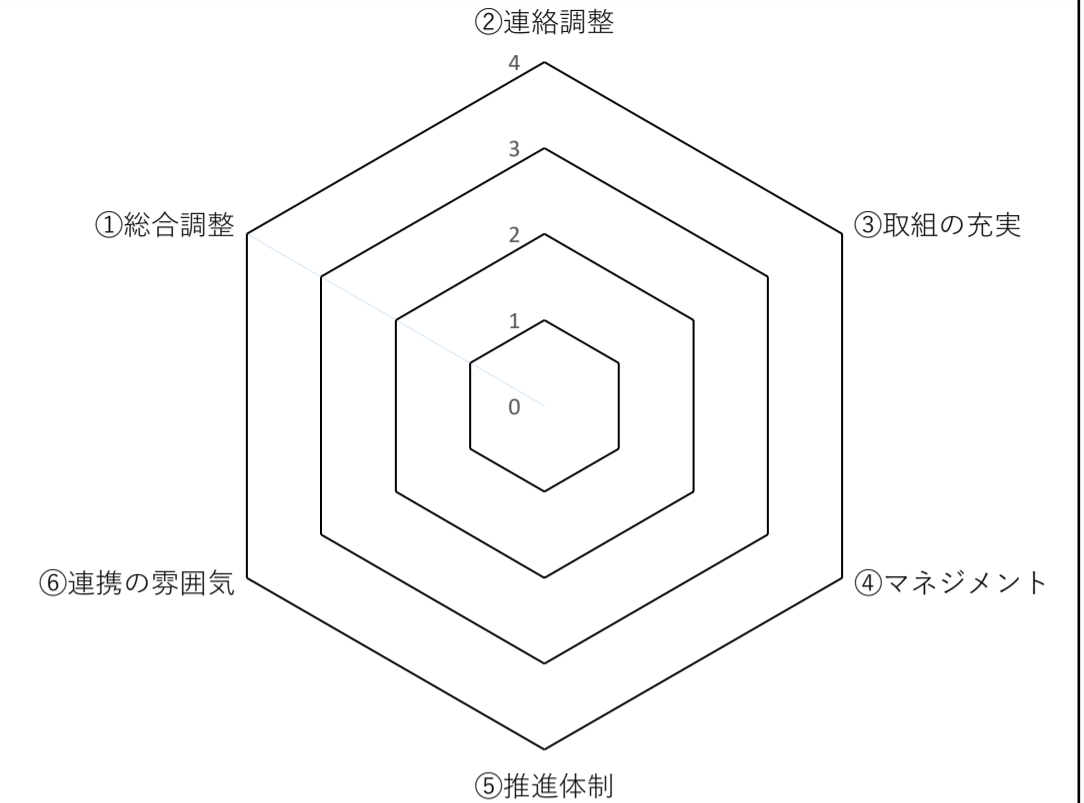


# 地域連携教員の活動充実のためのチェックリスト(井上先生 考案)

| 地域連携教員としてこれまで行ってきたことや学校の状況  | 空欄に当てはまる状況を記入してください。<br>1：当てはまる 0.5：やや当てはまる 0：当てはまらない |   |   |   |   |   |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|---|
| 例) 地域連携教員に指名されている           |   | 1 |   |   |   |   |
| 1 地域連携に関する校長の方針が明確になっている    |   |   |   |   |   |   |
| 2 地域連携に関する研修会を実施している        |   |   |   |   |   |   |
| 3 プログラムの充実のための助言を行っている      |   |   |   |   |   |   |
| 4 地域連携の調整をチーム（複数名）で進めている    |   |   |   |   |   |   |
| 5 地域コーディネーターが設置されている        |   |   |   |   |   |   |
| 6 地域人材を教員に紹介している            |   |   |   |   |   |   |
| 7 より良い連携活動となるように改善に努めている    |   |   |   |   |   |   |
| 8 地域連携に関する情報収集や発信を行っている     |   |   |   |   |   |   |
| 9 地域連携の意義について理解している教員が多い    |   |   |   |   |   |   |
| 10 連携活動の進め方について他の教員に助言している  |   |   |   |   |   |   |
| 11 管理職が地域連携を進めていこうとする意志が強い  |   |   |   |   |   |   |
| 12 より良い連携先等を助言している          |   |   |   |   |   |   |
| 13 地域連携全体計画を作成している          |   |   |   |   |   |   |
| 14 連携活動の効果をアンケート等で評価している    |   |   |   |   |   |   |
| 15 地域連携を進めていこうという教員が多い      |   |   |   |   |   |   |
| 16 連携活動の実施状況の把握に努めている       |   |   |   |   |   |   |
| 17 参加型学習の導入を支援している          |   |   |   |   |   |   |
| 18 地域連携の教員の要望を集約している        |   |   |   |   |   |   |
| 19 地域連携教員が活動しやすい環境になっている    |   |   |   |   |   |   |
| 20 教育課程への地域連携活動の位置づけを検討している |   |   |   |   |   |   |
| 21 連携活動の年間スケジュールを作成している     |   |   |   |   |   |   |
| 22 地域連携教員が組織的に位置づけられている     |   |   |   |   |   |   |
| 23 協力者との打ち合わせの機会を作っている      |   |   |   |   |   |   |
| 24 自分自身が地域連携活動を進める意欲がある     |   |   |   |   |   |   |
| 縦に数字を足し合わせて記入してください         | ①   | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |

## チェックリストの使い方

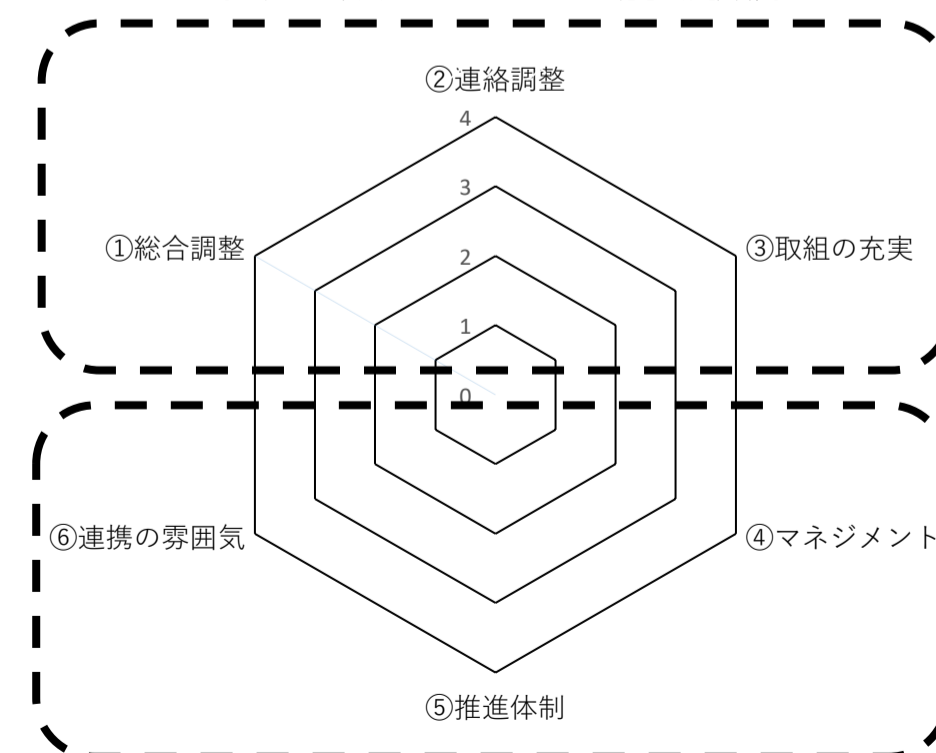
- (1) 左表の24項目について、当てはまる状況（数字）を空欄に記入する。
- (2) 数字を縦に合計し、①～⑥の欄に記入する。
- (3) 左表①～⑥欄の数字を、右のレーダーチャート①～⑥それぞれの頂点に反映させる。  
例えば、左表①の数字が「1」の場合、レーダーチャート「①総合調整」の「1」の頂点に点をうつ。
- (4) 点同士を線で繋ぐ。



## 資料の分析について

- ◇ レーダーチャートの凹凸から、事項における活動状況を客観的に見ることができます。数値の低い部分を意識しながら、計画の見直しをしましょう。
- ◇ 下図のように、チャート図上部の①～③からは「地域連携教員としての活動状況」が、下部の④～⑥からは「地域連携に関する学校の状況」が見えるようになっています。  
チャートが上に伸びているのか、下に伸びているのかによっても、改善に向けたアプローチが違ってきます。

## 地域連携教員としての活動状況



## 地域連携に関する学校の状況